

日高くるくるねつと

# くるくるニュースレター

Vol. 12 2016 年初冬号



## 東北応援隊

今年もあいあいまつりに出店しました！

今年のあいあいまつりでは、炭火でさんまを焼き、かまどごはん、当日採りたての枝豆と合わせて「さんま定食」を販売。

煙が出て香ばしいにおいがすると、「なんだろう」と立ち止まって見て行く人が多かったです。

買ってくれた人たちはみな「おいしい」と言ってくれ、さんま部隊の男性陣の休むひまがないくらいに繁盛していました。

また、海藻類もよく売れていて、中には「おいしいのよね、これ」とリピーターになってくれている方もちらほら。

震災から年数が経ち、「支援」という雰囲気は薄れてはいますが、東北のものが美味しくて良品である、ということが浸透している気がしました。



イベントの時だけでなく、常時商品を販売できるアンテナショップのような場所があったらいいなあと思います。

海藻類を送ってくれている気仙沼大島の村上さんが、「今度の出店、手伝いに行きますよ」とのこと。

生産者さんが来てくれたら、買い物している人にも伝わりやすいですね。計画していきたいです。

(池田)

## 福祉ネットサロン出店

武蔵台福祉ネットサロン前で、東北応援隊の出店を始めて、11月で9回となります。月一回、2時間という短い時間なので、サロン前に予告の掲示をしたらどうかとか、幟を立てたらどうかと、サロンの方が気を遣って下さっています。

サロンにいらした方や朝採れファームにいらした方、いろいろな方々が覗いて下さっています。どちらかという、年齢を重ねた方々が多く、健康に気をつけていらっしゃるの、海藻類がよく売れます。(テーブルの半分は海藻類が占めてますが) 又、えごま油やえごまの種？に特に関心が集まっていました。くるくるねつとの納豆はとても評判です。

お客様の中には東北出身の方もいらっしゃる、震災の事や昔の事なども話して下さる事があります。品物の販売を通じて、月一回の僅かな時間の中で、おしゃべりをして少しずつ顔見知りになり、新しいつながりになって行く楽しさをいただいています。

(陽子)

## くるくる農業隊

### 「我が家の目標は食の自給自足」

土の状態、種まきの時期、虫たちの生態、天候に左右され、人間の声をBGM?に育つ作物たち。日々育ち具合を楽しみながらの生活っていいですよ。

我が家の目標は食の自給自足です。自分で育てた作物は安心して食べられますからね。とはいっても目標達成は何時のことやら。まあ地道にやります。

今年は秋の長雨が文字通り長く、作物たちには過酷な日が続きました。それでも自然への順応性が素晴らしいのか、めげずに成長しています。強いです。

今のところ台風の被害も少なく、ほぼ順調に生育しているようです。

特に大豆は葉枯れや虫食いもなく、イベントでは枝豆が人気だったようです。是非、栽培の秘訣を御教授願いたいところです。

さて、作物にとって日光浴や通風は欠かせないものです。夏は草丈が作物を超え、成育が停滞します。暑い盛りの草取り作業は骨がおれませんが、草取り後は作物たちが微笑んでいるように感じます。作物も人間もホッとする瞬間です。

雨が降る毎に涼しくなり、秋らしくなってきました。これからは収穫の時期です。作業は決して楽ではありませんが、自然の恵みに育まれて成長した作物たちから我々へのご褒美です。有り難く頂戴しましょう。(下田)

## くるくる果樹園隊

### ニホンミツバチと自然界のドラマ

右の写真に写っているのは、ホワイトイスキアという品種の無花果です。小さいけど完熟するとねっとり甘い。9月にたくさん収穫できると思っていたのですが、10月半ばを過ぎた今も数はたくさんついているのですが熟度はまだ、収穫はもう少し先になりそうです。

霜が降りる前に、間に合うかどうか？

昨年3つ生った柿は、今年はたくさんあり数えるのがたいへんくらい実っています。太秋という品種です。大きくて甘味が強く滑らかな舌触りです。

果樹園の何も植えられてない空間に、巣箱のニホンミツバチの蜜源としての期待も込めて8月に種を蒔いた蕎麦が実を結び始めました。もちろん主目的はおいしい蕎麦です。あと数週間で脱穀します

順調に成長していたニホンミツバチ。2つあった巣の一つにスズメバチがやってきて、ミツバチは巣を放棄してしまいました。

巣箱に取りついたスズメバチの羽音はとても勇ましく、近づくとその音だけで恐ろしくなります。実際に危険なため、不用意に近づいてはいけません。無知な私は近づいてしまいました。

採蜜できるかも！と、楽しみにしていたので、自然界では普通に起きることとはいえ残念です。残り一つの巣は今のところ無事です。(中西)



粘着シートに捉えたスズメバチ



#### ◎大スズメバチの退路を断つ作戦◎

巣はすでに大スズメバチに占拠されていて巣門には見張りが常時2~3匹いて巣の中からはミツバチの幼虫や蜂蜜を盗んだ兵隊蜂が南西の方向に行ったり来たりしている状況でした。

防寒具と雨合羽、作業手袋でわか重装備をしてまずペットボトル(カルピス+焼酎入り)捕獲器を近くの本に吊るしました。次にいよいよ生贄作戦。本来の巣から帰還した兵隊蜂を網ですくってネズミ取り粘着シートに生きたまま貼り付けて巣の近くに置きました。蜂は脱出しようとしてもがくのですがこの時、助けてくれフェロモンを発するらしく、これによって帰還した蜂が「どうした」と近寄ってきて次々と粘着シートの餌食になります。1時間程の作業中20匹位がかかりました。

問題は門番の見張り蜂を排除して巣門に蓋をする作業ができるかでしたが、うまく門番蜂を網に取ることができ巣門には何もいなくなりました。戻り蜂と中にいる蜂が出てこないタイミングで蓋をすべく、加藤さんに見張り役をお願いしてどうにか木枠で蓋をすることができました。この作業が一番緊張しました。(中村)

# 畑の学校

今年の畑の学校も残りわずかとなりました。現在は秋冬野菜の作付も終了し、各野菜の管理作業や収穫をしています。今年は9月の台風や長雨、日照不足など秋冬野菜の作付け時期に天候不順に悩まされました。近年は毎年のように異常気象や天候不順が発生するので、どのように安定的に野菜を作っていくかが、今後の大きな課題となりそうです。

また、開講日の冒頭では農業の現状や今後の課題なども少しお伝えするようにしています。畑の学校を通じて、食の安全や農業や環境問題などにもより深くみんなで考える機会になれば幸いです。

畑の学校は今期で5年目となりました。回を重ねるごとに参加者同士の繋がりもより一層強くなっているように思います。仲間と協力して育てた野菜を分け合って収穫し、また種を蒔いて育てていく。野菜作りを通じて仲間と出会い、また輪が広がっていくのを感じ、

とても素晴らしいことだと思えます。

卒業後もそれぞれが繋がったり、くるくるネットの様々な活動にも参加して頂けたらうれしいです。(松下)



## くるくる間伐隊

間伐隊では、8月、9月に久しぶりに皮むきの作業をしました。

皮むきについては、この紙面ではもう何度も書いていますが、春から秋にかけて、木々が水を吸い上げる時期に、樹皮を剥くことで、水の通り道を遮断し、木を立ち枯れさせる方法です。一年半ほど、伐らずにそのまま山の中で自然乾燥させると、運び出すのがとても楽になります。

今回の皮むき間伐には、初めて体験される方も何人かいらして、一皮剥けると現れる、つるつるの木肌に皆さん驚かれていました。

この作業をした場所に、大きな穴が開いており、地主さんに尋ねたところ、昔、金の採掘をしていたらしい!?とのこと。一同、思わず皮むきの手が止まり、穴をのぞき込みました(笑)。言われてみれば、日和田山の山頂手前に、金刀比羅神社というのがありますが、このご祭神のひとつが金山彦命(鉾山を司る神)だそうです。

山はいつの時代にも、私たちに恵みをもたらしてくれていますね。昔の山と、今の山、そしてこれからの山。私たちは次の世代にどんな山を残していけるのだろうか・・・考え続けていきたいです。(紙 英三郎)

## 小父さんのつぶやき

夏の終わり頃にどやどやと台風がおしかけ、それが終わったとたん秋！一気に寒くなったとおもったら、いつの間にかまわりの草の種類が変わっていました。

新潟県知事選で反原発の候補者が当選。共産、自由、社民が推薦したものの圧倒的に不利な中での当選。

地元の人達が原発やTPPに如何に不安をもっていたかを感じさせられた出来事でした。

先日のあいあい祭りでは、九州の地震復興がメインになり、東北の影が薄くなってしまった感じがしました。

地震や台風の被害ならば数年経てばなんとか。

数十年たつたら、そんなことがあつたんだとなりますが、放射能はそうはいきません。

そして沖縄の問題も...

なかなか記事にはなりません、九州の原発や沖縄の米軍基地周辺の人々の様子、その後の福島第一原発周辺の様子等、我々日本人にとって本当に大切なもの、大切な事は何なのか。気がついたら変わってたと後になって後悔しない為にも、今考えていかなければと思います。塵も積もればではないですが、コツコツと!

(Chomolungmaは無理でも、雲取山、

日和田山くらいには(-\_-) (M)

# くるくるカレンダー

日にち	時間	プロジェクト	活動内容	活動場所
<b>2016年 11月</b>				
3日(木祝)	8時～12時	【農業隊】	えごまの収穫	栗坪畑・高岡畑
6日(日)	9時半～11時半	【畑の学校】	畑の学校	栗坪畑
6日(日)	10時～12時	【間伐隊】	間伐・山の整備作業	くるくる事務局集合
7日(月)	9時～12時	【農業隊】	蕎麦の収穫	栗坪畑
13日(日)	8時～12時	【農業隊】	えごま・蕎麦の脱穀	栗坪畑
19日(土)	9時～15時	【農業隊】	大豆の収穫	高岡畑
20日(日)	9時～15時	【農業隊】	大豆の脱穀	高岡畑
20日(日)	9時半～11時半	【畑の学校】	畑の学校	栗坪畑
27日(日)	10時～12時	【東北応援隊】	清流青空マーケットに出店	森の果樹園
<b>2016年 12月</b>				
4日(日)	10時～12時	【農業隊】	小麦の種まき	高岡畑
4日(日)	10時～12時	【間伐隊】	間伐・山の整備作業	くるくる事務局集合
4日(日)	12時～14時	【クッキング隊】	新蕎麦を食べる会	
11日(日)	9時～12時	【農業隊】	大豆の選別作業	森の果樹園
11日(日)	12時～14時	【クッキング隊】	新米を食べる会 Part 1	森の果樹園
18日(日)	9時～12時	【農業隊】	麦踏み・大豆選別作業	高岡畑
28日(水)	9時～15時	【全体】	お餅つき	森の果樹園
<b>2017年 1月</b>				
8日(日)	10時～12時	【間伐隊】	間伐・山の整備作業	くるくる事務局集合
9日(月祝)	10時～12時	【全体】	2017年活動話し合い	森の果樹園
9日(月祝)	12時～14時	【クッキング隊】	新米を食べる会 Part 2	森の果樹園
15日(日)	9時～12時	【農業隊】	麦踏み・大豆選別作業	高岡畑

## くるくるクッキング隊

クッキング隊の次回の活動は、  
お店屋さんコラボ！  
新蕎麦を収穫、脱穀したのち、日高市のお蕎麦屋さんでくるくる蕎麦を打っていただき、今年の収穫に感謝し、味わう企画です。  
ただ今日程を調整中。  
味覚の秋、みなさんと舌鼓を打ちながら話に花が咲くのを楽しみにしています。  
ぜひお越しください。(船戸)



## 日高くるくるねっと

日高くるくるねっとは、2011年の震災・原発事故を受けて、「何かしたい」と思った日高市内外の有志が集まって誕生したグループです。  
自分たち自身の暮らしを見つめ直し、足元にある豊かな自然資源(太陽・水・田畑・山林など)を活用・循環させながら、人と人とが手を携え、自立した豊かな暮らしをみんなの力で築いていくことを目指しています。

### ◎日高くるくるねっとメンバー募集中！◎

本ニュースレターをお読みになり、参加してみたい活動がありましたら、お気軽に以下までお問い合わせください♪

### 日高くるくるねっと事務局

日高市清流 117 TEL:042-982-5023 E-mail:kurukuru\_hidaka@yahoo.co.jp  
ホームページ:http://kurukuru-net.jimdo.com/

